

公益財団法人 大塚芳満記念財団

2019(平成31)年度助成応募要領

当財団の目的

当財団は、(株)大塚製薬工場の元代表取締役会長、故大塚芳満氏が、長年に関わってきた製薬業に関連する分野、また、徳島県体育協会会長を務めたスポーツ分野で、ふるさと徳島に貢献したいとの故人の遺志に基づいて、芳満氏の妻道子氏が設立した記念財団です。従いまして、当財団は、徳島県内に在住する医学、歯学、薬学及び栄養学を専攻する有能な学生・大学院生に対し奨学援助を行い、もって同医学、歯学、薬学及び栄養学の発展並びに国民福祉の向上に寄与し、社会有用の人材を育成するとともに、徳島県内の優秀スポーツ選手に対して援助を行い、県内スポーツの発展に寄与し、もって青少年の心身の健全な育成に資することを目的としています。

助成の概要

上記目的のもと、当財団では毎年一回、奨学金等助成希望者を公募し、選考委員会による厳正な審査により選考された医学、歯学、薬学及び栄養学の学生・大学院生には奨学金を、スポーツ選手には奨励金を給付いたします。今回は第18回目の助成金の公募となります。

1. 助成対象者について

(1) 医学・歯学・薬学・栄養学分野

- ① 徳島県内に在住する医学、歯学、薬学及び栄養学分野を専攻する有能な学部学生・大学院学生で、選考委員会において、上記の当財団の目的達成にかなった社会有用の人材となり得ると判断される者
- ② 品行方正・学業・人物ともに優秀で、助成による援助を必要とする者
- ③ 最短修学期間の最終年度に該当する者で、指導教授の推薦を得られる者
- ④ 他の奨学金との併給は差し支えありません。

(注) 外国人留学生については、私費留学生に限ります。

(2) スポーツ分野

- ① 徳島県内の高校・大学に在籍する優秀スポーツ選手又は競技団体で、選考委員会において、スポーツの発展に寄与し、もって青少年の心身の健全な育成に貢献する者になり得ると判断される者
- ② 品行方正・学業・人物ともに優秀で、助成による援助を必要とする者
- ③ 他の奨励金等との併給は差し支えありません。

2. 助成人数

医学分野…… 6名程度

歯学分野…… 4名程度

薬学分野…… 8名程度(徳島大学4、徳島文理大学4)

栄養学分野… 7名程度(徳島大学3、徳島文理大学2、四国大学2)

スポーツ分野…… 5名程度

合計30名

3. 助成金額

1人当たり年額で、医学、歯学、薬学及び栄養学分野は奨学金各50万円を、スポーツ分野は、奨励金各30万円を支給します。

◇ ただし、秋季修了者は在学期間に応じて支給します。

◇ 奨学金、奨励金は貸与ではないので、返済は不要です。

4. 申込期間及び申込方法

(1) 申込期間

平成30年11月中旬～平成31年2月末日

(2) 申込方法

助成金の給付を希望する方は、当該大学・学部のホームページに掲載している応募要領から所定の助成金給付申請書(様式1号の1)をダウンロードし、必要事項を記載の上、下記書類を取り揃えて、申込締切日までに、所属する大学の奨学金担当係へ提出してください。

スポーツ分野の方については、助成金給付申請書(様式2号の1)に、学校長の推薦書及び在学証明書を添付し、公益財団法人徳島県体育協会を経て、当財団事務局まで提出してください。

5. 提出書類

(1) 医学・歯学・薬学・栄養学分野 (大学生・大学院生共通)

① 助成金給付申請書(様式1号の1)

② 指導教授の推薦文(様式1号の2)・・・推薦理由、勉学状況及び研究活動の説明)

③ 成績証明書

④ 小論文800字程度(様式任意)・・・テーマ:「在学中取り組んできたこと。学問・社会貢献、将来の夢」等

⑤ 教育研究活動等の業績(大学院生のみ。様式任意)

ア 学会発表・・・国内・国際会議等での発表年月、場所、学会名、演題及び共同発表者名(筆頭発表には○印)等を記載してください。

イ 学術雑誌等への掲載・・・学術雑誌等の掲載年月、掲載誌名、研究題目名及び著者名・共著名等を記載してください。

⑥ 外国人登録証明書(外国人のみ。)

(2) スポーツ分野

- ① 助成金給付申請書（様式2号の1）
- ② 学校長の推薦書（様式2号の2）
- ③ 在学証明書
- ④ 公益財団法人徳島県体育協会会長の推薦書

(注) 上記書類提出後、記載内容に変更があった場合には、速やかに財団事務局に連絡してください。

6. 選考及び発表

(1) 第一次選考

大学学部・大学院は、3月中に学内で選考委員会を開催し、候補者の選考を行い、推薦順位を付して、4月上旬までに財団事務局へ提出してください。

(2) 第二次選考

大学から送付された奨学金一次選考該当者並びに徳島県体育協会から推薦のあった奨励金該当者について、**6月上旬開催**の大塚芳満記念財団理事会・評議員会で選考・審査を行い、助成を決定いたします。

(3) 選考基準

当財団の目的に即した資質や志を持たれた方で、最も適格であると認められる者といたします。

(4) 発表

6月の評議員会・理事会にて決定後、速やかに、大学長、大学学部長・高等学校長（選外者を含む。）並びに公益財団法人徳島県体育協会会長あて通知いたします。なお、受給者本人には決定通知及び受給事務手続きを記載した文書をお送りいたします。

7. 奨学生等の義務

(1) 毎年9月20日頃開催の「**奨学金・奨励金伝達式**」に、**必ず本人が出席**し、「奨学金・奨励金受給者選定の証」を受領することになっています。（やむを得ず欠席の場合は、理由等を明記の上、学部長又は高等学校長の承認を得て、財団事務局まで申し出てください。出欠の返事なく、無断欠席の場合は後期分奨学金を支給停止することがあります。

(2) 卒業・修了後は、3か月以内に「**卒業・修了後の活動状況報告書**」（進学先又は就職先での活動状況や住所記載）を事務局あて提出して下さい。

8. 助成金の交付・給付期間

助成金は、年2回に分けて、7月と10月に銀行振込により交付いたします。なお、給付期間は1年間（秋季：9月修了の場合は半年間）とします。

(様式1号の1)

【 医学・歯学・薬学・栄養学分野 】

年 月 日

公益財団法人 大塚芳満記念財団助成金給付申請書

公益財団法人 大塚芳満記念財団 御中

標記助成金の給付を受けたく、下記のとおり申請します。

ふりがな 氏 名	印	生 年 月 日	年 月 日 満 歳
外 国 人 国 籍		来 日 年 月	年 月 (来日 年目)
住 所 (連絡先)	〒 TEL		性 別 男 ・ 女
大学・学部 等名	大学 大学院 第 年次	学部 教育部 博士(前期・後期)課程 研究科博士課程	指導 教授 名
1. 奨学金を必要とする事情			
2. 現在受けている奨学金の名称及び支給期間・金額(月額)。なお、給付型奨学金には○印を付してください。 ・日本学生支援機構奨学金 支給期間： 年 月～ 年 月、金額(月額) _____ 円 ・() 奨学金 支給期間： 年 月～ 年 月、金額(月額) _____ 円			
3. 受給申請者は、小論文(800字程度)を添付してください。(様式任意) …テーマ：「在学中取り組んできたこと。学問・社会貢献、将来の夢」等			

(様式1号の2)

指導教授の推薦文

申請学生 氏名		指導教授名	印
学部等名	第 年次	所属講座等	
推 薦 文	1. 推薦理由を記入してください。		
	2. 勉学状況、研学活動（学会発表・学術雑誌等への掲載含む。）その他特筆すること <u>（例：素晴らしい賞の受賞、有名学術雑誌への掲載等）があれば記入してください。</u>		

(様式2号の2)

学校長の推薦書

第 号
年 月 日

公益財団法人大塚芳満記念財団
理事長 大塚 道子 殿

校 名

学校長

2019年度公益財団法人大塚芳満記念財団助成金候補者について（推薦）

下記の者は、本校第___学年に在学し、人物・学業ともに優秀でありますことから、貴財団スポーツ分野助成金候補者として適当と認め、推薦いたします。

記

候補者氏名 _____

徳体協第 号
年 月 日

公益財団法人大塚芳満記念財団
理事長 大塚 道子 殿

公益財団法人徳島県体育協会

会長

2019年度公益財団法人大塚芳満記念財団助成金候補者について（推薦）

このことについて、下記のとおりスポーツ分野助成金候補者 名を推薦いたします。

記

1. 候補者名及び推薦順位

- 1 位
- 2 位
- 3 位
- 4 位
- 5 位

2. 提出書類

- (1) 助成金給付申請書（様式2号の1）
- (2) 学校長の推薦書（様式2号の2）
- (3) 在学証明書

お問い合わせ・申込先

〒772-0012 鳴門市撫養町小桑島字前浜140
公益財団法人 大塚芳満記念財団事務局
(TEL) (088) 676-2373
(FAX) (088) 676-2374